

準備委員会だより

No. 5

令和8年3月11日(水)

因北中学校区

小中一貫教育校準備委員会

(お問い合わせ)

事務局：尾道市教育委員会

学校経営企画課企画振興係

TEL(0848)20-7523

因北中学校区小中一貫教育校の学校教育目標、校訓、 目指す子ども像が決定しました！

学校教育目標：自ら学び 仲間とともに 未来を創る児童生徒の育成

校訓：自律 敬愛 共創

目指す子ども像：ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる子ども

学校教育目標は、これまで4小中学校で継承されてきた学校教育目標に込められた学校文化や伝統、また、これから変化の激しい社会をたくましく生き抜いてほしいという願いを大切にしたい目標を考えました。

校訓は、4小中学校の中で重井中学校しかありませんでしたが、新たに小中一貫教育校としてスタートするにあたり、校訓は、児童生徒、教職員、保護者・地域で価値観を共有し、学校教育目標の実現に向け一致団結して取り組みを進めることができると考え決めました。

目指す子ども像には、「子どもたちが尾道(因島)で育ち学んでよかったと誇りに思い、自分の可能性に挑戦し、豊かな人生を切り拓いてほしい」という願いを込めています。

今後、この学校教育目標、校訓、目指す子ども像を、学校、保護者、地域、教育委員会が共有し、重井・因北中学校区の一体感の醸成や新しい学校作りを加速してまいります。

第5回準備委員会を令和8年2月20日(金)に因島総合支所にて開催しました。各部会長からの報告等について紹介します。

1. 各部会長から部会の進捗状況と今後の予定についての報告

(1) 総務等検討部会は、1月21日(水)に第3回部会を開催しました。

○第2回部会での質問に対する回答

廊下の長尺シートの耐久性について、10年保証がついており、通常使用する範囲内であれば、定期的に清掃することで、長く使っていけること、屋内トイレの仕様については、男子は、小便器6基、洋式の大便秘器2基、女子は、洋式の大便秘器5基で計画していること、給食用リフトの再稼働は、現状では難しいことの説明がありました。

○小学校の改修内容について

教室の床、ロッカー、内部建具の改修と、1・2号棟に各1箇所トイレを整備し、廊下床と階段手摺の改修を計画していること、校舎全ての照明器具を、LED照明に交換したり、尾道(因島)らしさのある9年間の学びの創造に向けて、ワーキングルーム等を整備したりするよう計画していることの説明がありました。

○中学校の改修内容について

教室のロッカー、内部建具の改修と、1階から3階までの男女トイレを洋式化・乾式化すること、小学校同様、ワーキングルーム等を整備するよう計画していることの説明がありました。

○事務局から

今後の事業スケジュールについて、小・中学校ともに令和8年度に実施する計画であること、小学校の3号棟については、令和9年度に改修する計画としていること、小学校は令和8年度のなるべく早い時期から改修に取り掛かり、学校運営に支障が出ないよう作業

を進めたいと考えていること、中学校は、夏季休業等を有効に使い、教室の移動をしない方向で改修を考えていること、施設整備に係る予算については、小中学校で約3億円を2月に開かれた尾道市議会において、可決されたことの説明がありました。

(2) 生徒指導等検討部会は、1月29日(木)に第5回部会を開催しました。

○学校規定品等(制服・体操服以外)の方向性について

<小学校の規定品等について>(主なもの)

- ・因北小学校のものを引き続き使用するのは制帽と名札で、制帽は男女兼用とし、キャップ型を使用します。
- ・上履きシューズは平ゴムタイプとし、布部分が白であれば、つま先の色は問いません。
- ・通学・運動シューズは白地・白ラインのものとし、

<中学校の規定品等について>(主なもの)

- ・因北中学校のものを引き続き使用するものは、体育館シューズ、通学カバン、サブバック、名札です。令和9年度以降のサブバックには校章は入れない方向で検討しています。
- ・自転車通学時に着用するヘルメットは、令和8年度から学校規定品とはせず、SGマークなどの安全性を示すマークの付いたものであればよいこととします。
- ・室内上履きシューズは、学校規定品としてメーカー指定していますが、令和9年度から三角ゴムタイプで色が白のものであればよいこととします。
- ・通学・運動シューズも現在学校規定品としてメーカー指定していますが、令和9年度からは通学や体育に適した白地・白ラインの運動靴であればよいこととします。

これら学校から提案した学校規定品等の方向性については、今年度中に各PTAで協議し、次回第6回部会で報告していただくよう依頼しました。

○通学支援バスの方向性について

- ・路線バスを活用した通学支援を行うことで進めています。
- ・路線の開設は、学校再編に合わせて、令和9年4月の予定です。
- ・ルートや運行時間帯については、現在検討している段階です。
- ・現在、学校選択制度を利用して、因島重井町から因北小学校に通学している児童についても、令和9年度から通学支援の対象となります。

○制服等検討委員会について

第1回委員会が開催され、中学校の制服について、制服製造事業者を選定したとの報告がありました。

(3) 教育課程等検討部会は、2月9日(月)に第3回部会を開催しました。

○児童生徒間交流について

令和8年度に全校での交流を年3回予定しています。1学期は6月に、自己紹介や体育活動、レクリエーション、そして一緒に授業を受ける場面などを考えています。2学期は9月に各学年で体験交流活動、3学期は1月に因北フェスを一緒に行いたいと考えています。また、5年生については野外活動に関わって交流することを予定しています。

今年度行っているオンラインによる児童間交流については、計画通り実施済みです。オンラインでお互いに顔を見て質問し合ったり、交流し合ったりすることで親しくなることができたこと、児童は来年の対面での交流を楽しみにしている様子だったことの報告がありました。

○育成したい資質・能力について

「社会性(人と関わる力)」「主体性(自分で考えて行動する力)」「表現力」等を考えているが、3月末までに4小中校長で確認して決定したいことの説明がありました。

○重井地域・因北地域学校運営協議会合同ワークショップについて

学校運営協議会委員の皆様や4小中の教職員が一堂に会し、開校に向けての取組経過や育成したい子どもの姿を共有する会となったとの報告がありました。

※第6回準備委員会は、5月中旬に開催する予定です。

※準備委員会だよりNO.5は、3月3日現在の情報で編集しています。